

2020 3 [Mar.] vol.156

セゾン投信 | お客様へのメッセージ

# NEWS LETTER



長期投資仲間へのメッセージ vol.156

『「セゾン号」は3,000億円に!』

セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野 晴啓

ゲストからの応援メッセージ

『VUCAの時代に求められる  
資産運用業界の変革』

ピクテ投信投資顧問株式会社  
代表取締役社長 萩野 琢英氏

SPECIAL FEATURE

『今年も「フィデューシャリー宣言  
理解度テスト」を実施しました。』

セミナー&イベント情報

買付・解約 受付不可日のお知らせ

日本全国なかのはるひろ旅日記

# 13TH ANNIVERSARY!!

# 「セゾン号」は3,000億円に!



セゾン投信株式会社  
代表取締役社長 中野 晴啓

## 亀の歩みの差別的価値

2020年2月13日に、セゾン投信は2つのファンドを合わせた運用資産総額が3,000億円に達しました。2007年3月の運用開始以来、実に12年11か月を経て到達した3,000億円は、我が国投資信託業界で類例を見ない、まさに亀の歩みの積み上げです。

日本の投資信託は米国の残高規模に比べて20分の1未満のスケールである一方、公募投信全体の本数は6,000本を超える多さで、故に1本あたりのファンド規模の相対的小ささが行政当局から問題視されており、当社の「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」の2,000億円規模でも、国内投信残高上位50位以内にランキングされます。他方現在でも、設定から数か月～1年程度の短期間に数千億円規模の資金を集めるファンドが恒常的に上位を占めて存在しており、業界スタンダードの観点では、155か月も要して3,000億円に辿り着

くことの事業的意義は決して高くないでしょう。

では既存業界に対する亀の歩みの差別的価値はと考えた時、当社は創業来直販にこだわることで、セールスマンの販売介在を経ずして、飽くまで自発的意志と行動により参加される自律投資家の、将来を見据えた忍耐強い長期投資マネーが、仲間の増加を伴ってコツコツと積み上がってきた、まさに亀の歩みの如き累積時間価値こそが希少なのだと自負しております。

## 「セゾン号」の資金が持つ強み

当社は創業来ずっと「セゾン号」乗客の皆さまに、「長期・積立・国際分散」の投資行動3原則を強く勧奨し続けてきました。そして多くのお客さまにそれを共感していただいています。

「国際分散投資」は「セゾン号」の運用理念の根幹ですので、当社ファンドの保有を通じて実践いただけますが、「長期」と「積立」は各人の自律的意志

においてのみ実行されるものであり、「セゾン号」は今や本格的長期積立投資家が参加するコミュニティになったと言えます。

その成果は「セゾン号」出発から間もなく満13年を迎えるにあたり、当社が独自KPIとしても重視する2つのデータに如実に表れています。ひとつは「平均保有期間」です。ファンド内への資金の平均滞留年数のことで、業界平均約3年に対し当社のそれは約12年と約4倍の長さを誇り、「セゾン号」乗客の皆さまが長期保有に努めて下さっていることの証左でありましょう。

結果として、ファンド自体の運用成績に対してそこに参加した投資家全員が平均的に享受している成果を示す、両ファンドの「インベスターリターン」は当該ファンドの基準価額騰落率に対しどちらも2%超の超過リターンを実現しています。これは多数の皆さまが長期保有に加えコツコツと毎月積立投資を継続して下さっていることによって導かれている成果なのです。

## 寄り添う運用会社

当社はこのように「セゾン号」乗客の皆さまの総体的リターン最大化を目指して適切な投資行動に誘うことを、顧客本位の業務運営の本旨たる「顧客の最善の利益の追求」と捉え、「長期・積立・国際分散」投資の励行を繰り返し発信し続けてきたわけですが、その目的は専ら将来に向けた長期資産形

成を見据えてのことでした。

昨年奇しくも衆目を集めた金融審議会「市場ワーキング・グループ」の報告書「高齢社会における資産形成・管理」において、長寿社会の進展の中で資産寿命の長期化が課題提起されたことに鑑み、当社も資産形成行動のみならず、高齢期を迎えて以降も資産運用を継続すると共に、長寿を前提とした計画的な資産活用の面にまで、お客さまの豊かな人生創りのお手伝いとして積極的に関与したいと考え、生涯軸で「セゾン号」の長期投資の旅を楽しんでいただくべく、資産形成から資産活用までシームレスで「顧客に寄り添う運用会社」を新たな付加価値のメインテーマに掲げました。

## 3,000億円からのセゾン投信

そうした折に、当社の運用資産総額が3,000億円に達しました。ここからの次なるセゾン投信は、引き続き「お客さま全部主義」の理念を更に磨き上げ、より高度な顧客本位への飽くなき探求を続けてまいります。

即ち当社の事業目的を「顧客の幸せな人生の実現」と定義して、長期投資の旅が14年目に入る「セゾン号」は、乗客の皆さまの豊かな人生という夢の実現にとことん寄り添い続ける運用会社を標榜し、乗務員一同で一層精進を重ねて運行してまいります！

(2020年2月22日)



## VUCAの時代に求められる資産運用業界の変革

ピクテ投信投資顧問株式会社、代表取締役社長の萩野琢英です。

弊社とセゾン投信様は、昨年、様々な取り組みをご一緒させていただいたので、読者の皆さまで既にご存知の方がいらっしゃるかもしれません。

YouTubeを通じたLIVE配信によるセミナーや、弊社が全国47都道府県で開催する「ピクテ・スペシャル・ジャパン・ツアー」を6会場で共同開催し、弊社のYouTube番組に中野社長がご出演いただくなど、多岐に渡るコラボレーションが実現しました。

投資信託協会の理事として若手組だった中野社長と私は、会食の席で「資産運用業界を盛り上げていこう」という考えが一致したことが、そのはじまりでした。

中でも、他社の成功を真似、横並びが当たり前になりがちなの業界だからこそ、各運用会社の個性がとても重要な時代になったという点で共感し、全くタイプの違う二社が一緒に取り組みを行うことに意義があったのではないかと思います。

特に、投資信託業界は、2019年末からより一層激動の時代に突入したと考えています。それは、オンライン証券に端を発した投資信託の「販売手数料無料化」の流れです。この流れは、加速することはあっても、逆戻りをするのではないと、私は考えています。

特に、マイナス金利が常態化し期待リターンへの低下が避けられない環境下、安定的にリターンを得ることがとても難しい時代に突入しました。

投資信託も同様に、商品が過剰に供給されており、信託報酬の値下げ競争は激化しています。しかし、手数料を値下げした結果、新たな投資家を取り込むことはできたのでしょうか？実際は、投資信託の純資産総額は、ほとんど横ばいという状況です。

商品が過剰で同様の商品が溢れている今だからこそ、差別化が重要な時代に突入しているのだと私は考えています。

こうした我々がかつて経験していない先行き不透明な時代を「VUCAの時代」と呼ぶそうです。VUCAとはV=Volatility(変動性)、U=Uncertainty(不確実性)、C=Complexity(複雑性)、A=Ambiguity(曖昧性)という、今日の社会を特徴付ける4つの形容詞の頭文字を合わせた言葉で、もともとはアメリカ陸軍が現在の世界情勢を説明するために用いた用語です。皆さまもそうした変化の激しさを時折感じることもあるのではないのでしょうか。

投信業界においても、急速に変化していく環境に、いかにしなやかに適合できるかという「柔軟性」が求められています。弊社も、伝統と革新性の狭間でピクテが歩んできた200年以上の歴史に学び、日本の投資家の皆さまからの信頼を高め、リターンをしっかりと提供できる会社を引き続き目指します。皆さまの暖かいご支援を賜われましたら幸いです。



### PROFILE

はぎの たくひで

ピクテ投信投資顧問株式会社 代表取締役社長 萩野 琢英氏

日系証券にてアナリスト業務を経てロンドン・ニューヨーク現地法人勤務を経験。2000年にピクテ入社、投信業務、投資顧問業務、商品開発、マーケティング業務に携わる。2007年からはマネージング・ダイレクターとして、グループ本社(ジュネーブ)にて商品開発、運営業務に従事。帰国後、2011年12月に日本法人の代表取締役社長に就任。ピクテ・グループ・エクイティ・パートナー。日本証券アナリスト協会検定会員(CMA)。著書:「改訂版 210余年の歴史が生んだピクテ式投資セオリー」

# 今年も「フィデューシャリー宣言理解度テスト」を実施しました。

私たちセゾン投信の行動規範ともいえるフィデューシャリー宣言(顧客本位の業務運営に係わる宣言)。それぞれの項目ごとに成果指標(KPI)を定め、その結果を取り組み状況として年に1回ホームページに公開しています。今回はその成果指標のひとつである「役職員におけるフィデューシャリー宣言の浸透度」についてお伝えします。



↑詳細はこちら



「役職員における  
フィデューシャリー宣言の浸透度」  
具体的にどんなことを行っているの?

役職員全員が毎年テストを受けています。  
どんな立派な目標を掲げても、役職員一人ひとりがきちんと理解していなければ、意味がありません。机上の空論とならないようセゾン投信では役職員全員がフィデューシャリー・デューティー(以下、FD)の理解を深めるため、コンプライアンス部が作成したテストを受験します。学生の頃のテストさながら、コンプライアンス部が試験官となり、試験時間は約30分。後日結果を公表し、合格点に満たない場合は補講も行います。

## 果たして今年は何...??

今年FDの観点からのケーススタディ問題と記述問題「あなたが街で出会った、顧客本位と感じる商品・サービスは？」を出題いたしました。全員が合格点(9割)をとることを目標としており、今年の達成率は95%(前年比+9%pt)となりました。今回は記述問題で印象に残った回答をご紹介します。



### あなたが街で出会った、顧客本位と感じる商品・サービスは?

事業推進部 Aさん  
とある家電量販店で、デジタルプリントを利用したら用紙切れに。その場にいた店員さんに伝えると「交換するまで時間がかかってしまいます。隣の家電量販店にも同じ機種が同じ値段で使えますのでどうですか?」とアドバイスされました。交換が完了するまで、その場で私が待つ(待たせる)ことで自社の利益にもつながったのに、他店の情報を提供していただけたことで選択肢が広がりました。

「顧客本位」といっても  
色々な捉え方が  
あるんだな...



金融庁が求めている「顧客本位の業務運営」においては、各金融機関が主体的に創意工夫するものとされています。当社の取り組みについてご紹介するコンテンツを今後検討しております。

## あなたも「フィデューシャリー宣言理解度テスト」にチャレンジ!

お客さまから「長期での資産形成を考えている。投資を始めるにあたって、どのようなポイントが大切か?」と質問を受け、以下のように回答をした。当社フィデューシャリー宣言の観点から、どちらが適切と考えますか?



- 1 市場動向は目まぐるしく変化するので、日々の値動きをよく見て、着実に利益確定するのがよいとアドバイスを行った。
- 2 長期での資産形成においては、積立での買い付けが相場変動に左右されず、時間分散の効果があること、また長期で保有すると結果的に元本割れする可能性が低くなっていることから、積立でコツコツ買い、長期で保有するのが資産形成に適しているとアドバイスを行った。

(答え) 2

当社フィデューシャリー宣言(1、お客さまの最善の利益の追求)  
当社は、生活者の経済的自立の実現のためには、長期投資の理念に立脚した資産形成が必要不可欠との考えから、その業務を行っています。そのため、販売においては、長期・積立投資を推奨し、短期的投資や乗換投資を推奨することはありません。

## セミナー & イベント情報

### セミナー開催中止のお知らせ

平素はセゾン投信をご利用いただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス「COVID-19」の感染が拡大を続ける状況下、セゾン投信では3月末までのセミナーおよび運用報告会を中止もしくは延期することいたしました。

既にお申込みをいただいたお客さまには、大変ご迷惑をおかけいたしますこと、深くお詫び申し上げます。

今後の開催については、日々変化する状況を考慮し、判断してまいります。

詳細が決定次第、改めて弊社Webサイト、メールマガジン等でご案内させていただきます。

何卒ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。



### 第13期運用報告会

2020年2月15日に収録した東京会場の運用報告会の様子を紹介させていただきます。また、当日の配布資料も特設サイトよりダウンロードできるようになっておりますのでぜひ、併せてご覧ください。

「第13期運用報告会特設サイト」はこちらから  
<https://www.saison-am.co.jp/seminar/other/unyo13.html>



#### 第13期運用報告

<https://youtu.be/fKFXImqKuD0>



(セゾン投信 運用部長 瀬下哲雄)

#### 投資家から見た セゾンファンド

<https://youtu.be/aDFzEZwUuwU>



(FCP代表/セゾン投信エグゼクティブ  
アドバイザー 房前督明)

#### セゾン投信の競争価値と これからのライフデザイン

<https://youtu.be/968vEnvNmC4>



(セゾン投信 代表取締役社長 中野晴啓)



### スパークスコラボオンラインセミナー



2月13日配信のオンラインセミナー「スパークスと学ぶ、株式投資の醍醐味」がセゾン投信のYouTubeチャンネルで公開されました。「うっかり見逃してしまった」「もう一度見たい」そんなお客さまはぜひ、こちらからご覧ください！

<https://youtu.be/qtzjcdRXsTw>



その他セミナー動画

<https://www.youtube.com/user/saisonam>



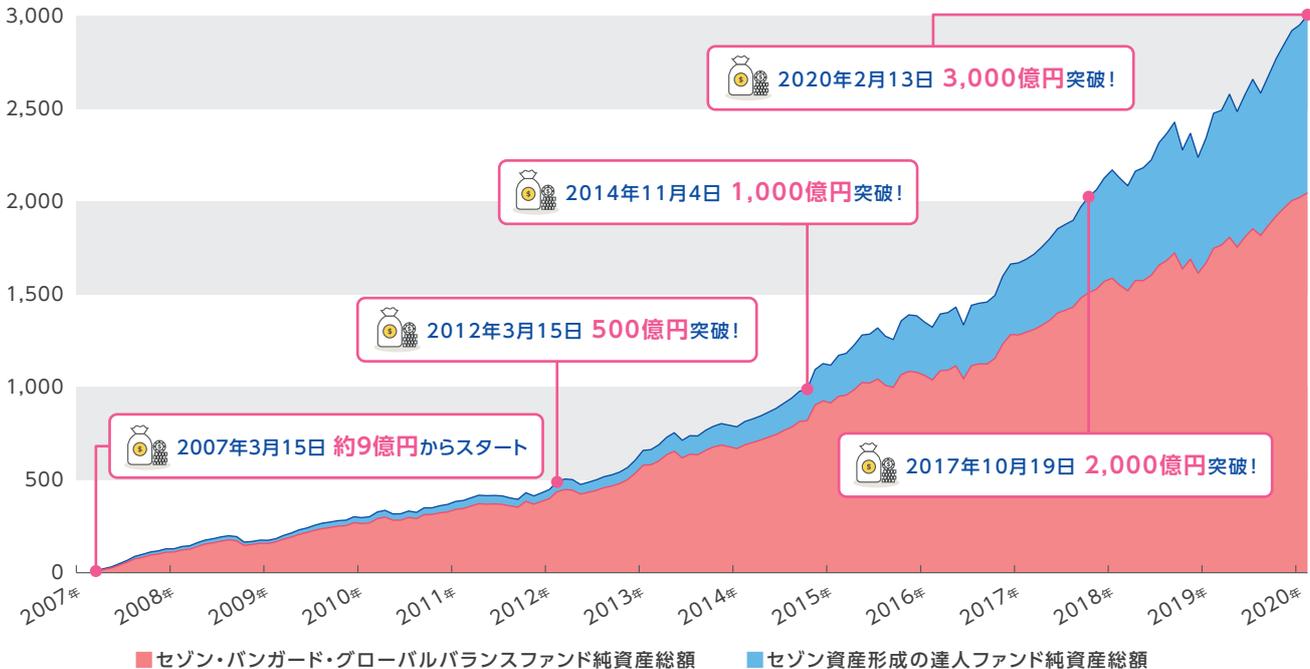


## 運用資産総額3,000億円を突破 おかげさまでファンド設定13周年

セゾン投信の2本のファンドは2020年3月15日に設定13周年を迎えます。2本をあわせた運用資産総額は3,000億円を突破するまでになりました。これもひとえに長期投資を目的に積立投資をおこなってこられたお客さまのおかげです。

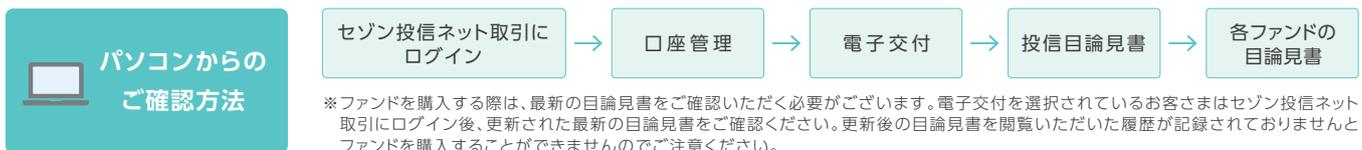
運用資産総額  
(億円)

運用資産総額の推移



### 目論見書更新のお知らせ

「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」「セゾン資産形成の達人ファンド」の投資信託説明書(目論見書)が**3月11日**に更新されます。



### 買付・解約 受付不可日のお知らせ (2020年3月4日～2020年4月3日)

下記は2020年3月4日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。

海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

- セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド ●セゾン資産形成の達人ファンド

買付・解約 受付不可日 3月17日(火) ..... 聖パトリックの日 ▶ ■ ■

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

今月の積立購入での約定日

3月24日(火)



# 日本全国



2020年2月2日(日)

## なかのはるひろ旅日記@広島

出張移動のスケジュールに余裕時間が出来て、広島市街をひとりでのんびり散策しました。週末の本通はデートのカップルやショッピングの家族連れで大賑わい。平和公園から原爆ドームへと歩き、更には初めて広島城の中にも入りました。広島は毛利氏が城下町を築き、徳川時代は浅野氏が安芸を治め発展しましたが、今年は浅野長政入城400年だそうです。何度も訪れている広島の街の魅力を再発見出来ました！



コンプライアンス部 河野

### スタッフのつれづれだより

**寒** い日が続いたり、花粉が飛び始めたりと、まだまだ外出が億劫な時期ですが、定期的な運動は欠かせません。私が通っているジムでは、フィットネスバイクを漕ぎながら、同時にダンベルを持ったり、腕立て伏せ、腹筋運動を行うので、全身がとても忙しく、ハード!!!ですが、レッスン中は暗闇なので自身に集中できること、おしゃれな洋楽が流れ、まるでクラブのような空間で、楽しみながら身体を鍛えることができます。「人生100年時代」と言われ、働き方、お金など色々考えることはありますが、まずはいつまでも健康で過ごせるよう、元気な身体づくりが大切と日々感じています。



管理部 庄司

**樹** 木に咲く花が好きです。佇まいに野生を感じるからですが、寒い季節には春の訪れも知らせてくれます。年の暮れに鎌倉の長谷寺の山門脇でつける臘梅の小さな黄色い花。2月に満開となる長瀬の宝登山の臘梅の花々。2月の終わりには街中の寺の境内に散見する早咲きの紅梅と桃の花。3月も10日になるとサンシャイン通りに繋がる地下鉄の出口を上った先にある1本の街路樹が濃い紅色の花を咲かせます。花桃なのでしょうか?濃い紅色に思わず引き寄せられます。樹木の花ではありませんが心惹かれる植物が野生の藤です。富津の里山、那須の深山の樹々に蔓を巻き付けながら咲き乱れる姿は樹々の緑と相俟って生命の力強さを感じます。

### 編集後記

ファンド設定13周年と運用資産総額3,000億円突破を運用報告会で全国のお客さまとお祝いできるのを心待ちにしておりましたが、新型コロナウイルスの影響で当面の間、運用報告会を含むすべてのセミナーが中止または延期となりました。運用報告会ではお客さまにセゾン投信の雰囲気や会社の様子などを感じていただければと思い、会社紹介動画の制作をおこないました。運用報告会動画のご視聴にあわせて「セゾン投信バーチャルオフィスツアー」もぜひご覧ください。(松)

こちらでもチェック!

### セゾン投信SNS

セゾン投信ではフェイスブック、ツイッターなどSNS等でも情報を発信しています。

YouTube

「セゾン投信バーチャルオフィスツアー」

[https://youtu.be/hIZHJWP\\_SQ0](https://youtu.be/hIZHJWP_SQ0)



スマートフォンから  
こちらから



積立王子のブログ

(社長 中野晴啓のブログ)

<https://ameblo.jp/saisonam/>



■この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のものとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ず販売会社が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

■投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価格は変動します。その結果、購入時の価格を下回ることもあります。また、投資信託は、銘柄ごとに設定された信託報酬の他、信託財産に関する租税、監査報酬等の諸経費が掛かります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。